

6月における麦類の病害の発生状況は以下のとおりです。
巡回調査(小麦のみ 11 地点)は6月 13～16 日に実施。

○ 赤かび病

- ・巡回調査の結果、小麦では、発生地点率は 54.5%で平年(69.9%)よりやや低かったものの、発病穂率は 2.1%で平年(3.7%)並の状況でした(図1)。

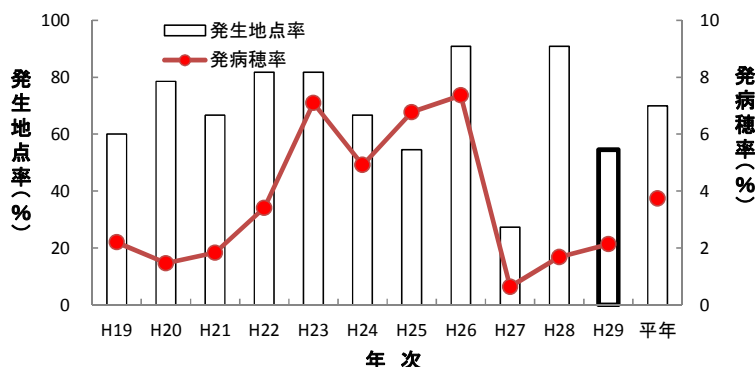


図1 コムギ赤かび病の発生地点率及び発病穂率の年次推移

※平年:過去 10 か年平均

- ・大麦では、発生地点率は 40.0%で平年(38.3%)並でしたが、発病穂率は 1.5%で平年(0.8%)よりやや高い状況でした(図2)。

※大麦の生育は全般的に生育(収穫)が早まったことから、本年の最終調査となった5月 31 日～6月2日の調査結果を用いて比較した。

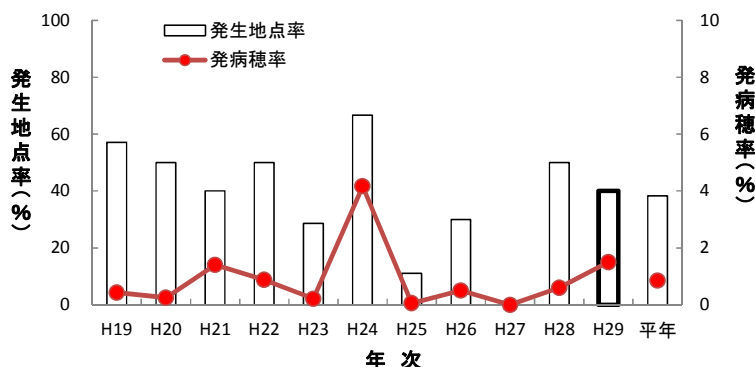


図2 オオムギ赤かび病の発生地点率及び発病穂率の年次推移

※平年:過去 10 か年平均

(H19～26は6月中旬の結果、生育が早まったH27～28は6月上旬の調査結果を用いて算出。)

○ うどんこ病

- ・今回の調査では、小麦1地点で発生が確認されましたが、発病程度は軽微でした。

○ さび病類

- ・今回の調査では、発生は確認されませんでした。